

作品担当者

濱口 雄

浜佐デザイン事務所（志摩支部）

事務所 | 志摩市大王町

浜佐デザイン事務所

構造 | 木造

階数 | 地上 1 階

敷地面積 | 377.42 m²

建築面積 | 77.10 m²

延べ面積 | 77.10 m²

竣工 | 令和 5 年 10 月



外 観



内観夕景



内 観



内 観



内観夕景

作品コンセプト

近年課題である建築廃材の処理、再利用、職人の技術低下、職人の高齢化に対する解決策となりうる建築モデルとしてデザインしました。

この数十年コストパフォーマンスの追求から住宅の省力化重視となり、オートメーション化された事による職人の技術力の低下が問題視されています。若い職人が育たず高齢化が進む中、最近話題の CNC ルーターとの融合が作業の効率化を実現しながら職人の技術向上へと繋がる可能性を感じました。

加工時に出る端材を化粧材として利用できるか、職人が手間のかかりすぎを理由に着手しない物の作成が実現可能かという新たな課題に挑戦することもありました。

デザイナーと職人の間には理想と現実の溝が存在します。その溝を埋めれば新たなデザインを生み出す事が可能になります。機械によって切り出された材を組立てたり、調整したりするのは技術面でも知識面でもやはり職人でなければならず、リタイアした職人でも労働可能となるため新たな雇用を生み出すことができました。

角材から出る端材までもデザインできる為、今までチップにしたり捨てたりしていたものを意匠として、またはハニカム材として利用することでアップサイクル及び SDGs へ大きな可能性を秘めていると考えます。

本建築の用途としては、打ち合わせやアトリエとして使用するほか、アート作品を展示したり、面白い人がコミュニティの場として使用しています。周囲が森に囲まれているため、全面ガラス張りとしハニカム材が美しい景色をフレームとして切り取ります。そして時の経過とともに木材が銀化し周囲の自然と調和していく様子も、この建築が持つ時間と共に育つデザインの一部になります。